

Disclosure2014.AUG

下野農業協同組合

ディスクロージャー誌2014年8月版





JAしもつけ
代表理事組合長
神永 信男

平素より私どもJAしもつけをご利用いただき誠にありがとうございます。この度、当組合へのご理解を深めていただくために「ディスクロージャー誌2014年8月期版」を作成しましたので、ご一読いただければ幸いと存じます。

当JAでは皆様からお預かりした大切な財産を安全性と流動性を重視したうえで運用しております。平成26年8月末における財務状況については、貯金残高は1,827億円、また貸出金残高については243億円、預け金残高は1,449億円、有価証券残高は84億円となりました。

また、健全経営の指標である自己資本比率は国内基準の4%を大きく上回る16.96%程度となり、また不良債権比率は1.70%と低水準を維持しているなど、健全な財務基盤の拡充をはかることができました。

今後とも、農家組合員及び地域の皆様とともに歩み、地域経済の発展に寄与すべく、信頼性・健全性の向上と充実したサービスの提供につとめてまいりますので、一層のご利用を賜りますようお願い申し上げます。

PROFILE

(平成26年8月31日現在)

設立	平成11年3月	総資産	1,974億円
本店所在地	栃木県栃木市片柳町	出資金	20億円
組合員数	21,759人	自己資本比率	16.96%程度
役員数	48人	支店数	8支店
職員数	467人	営農経済センター数	6センター

(注) 自己資本比率は上半期仮決算データを基に算出しており、確定した決算に基づく数値ではありません。

目次

平成26年度のトピックス 4

地域貢献に関する取り組み 6

経営資料 10

金融再生法開示債権

自己資本比率

主要勘定の状況

有価証券等時価評価情報

店舗・ATM 12

トピックス

皆さまのご来店をお待ちしております

大平支店 新装オープン



平成26年11月17日に金融店舗「JAしもつけ大平支店」が現在の店舗から小山大平線を隔てて北側に新装オープンします。また、これまで支店と併設されていた「大平地区営農経済センター」はライスセンターや野菜集荷所と一体となった営農サービスを提供することを目的に、栃木市大平町上高島に移転します。

当JAは、支店単位の機能強化と経営効率化を目的に平成20年3月に支店統廃合を行い、従来の21支店から7支店体制に移行し、その後、平成25年11月に「栃木駅前支店」を新設しています。また、施設再編方針に基づき老朽化した店舗等の改修・新築を進めています。

現在の大平支店は、旧大平町農協本所建物を改修し営業してきましたが、建物の老朽化や耐震構造上の問題があり、平成26年5月の第15回総代会において新築の承認を受けました。

新たな大平支店は従来の店舗より接客カウンター・ロビーを大幅に拡大し、ゆったりと落ち着いて利用いただけるよう配慮しています。また、営農経済センターの移転により周辺の営農サービスが低下することを防ぐため、大平支店敷地内に経済事業店舗「ほっとコーナー」が新設されます。

今回の新装オープンにより、地域に根ざした金融機関として、より質の高いサービスの提供を目指しておりますので、お気軽にご来店下さいますようお願いいたします。

相次ぐ自然災害が管内農業を直撃

協同の力で復旧作業着実に進む

T P Pや規制改革など農業をとりまく情勢は厳しさを増していますが、管内農業は自然の猛威にもさらされています。

平成26年2月14日から15日にかけての大雪で、ブドウをはじめとしてイチゴ、トマト、ニラなどの管内農産物・農業施設に総額39億円にもものぼる甚大な被害が生じました。続く6月初旬の降雨では、全国一の収穫量を誇る栃木県の二条大麦で、実が穂についたまま発芽する「穂発芽」が発生、ビール麦として商品価値を失い、管内では765ha、総額3億円超の損害を受けました。さらに、7月27日、8月10日には突風・竜巻により管内広範囲でイチゴ、ニラ、ナス等のハウスが倒壊する被害が生じました。

当 J A は相次ぐ被害にそれぞれ緊急対策本部を設置、被害農家の一日も早い営農復旧に向け、ハウス再建への人的支援、ハウス資材の早急な手配、営農施設復旧のための資金に関する相談窓口の設置など組合を上げて支援を行っています。

当 J A は金融円滑化にかかる基本方針に基づき、平成26年2月の大雪、8月の突風・竜巻等の自然災害により被害を受けた農林漁業者に対する資金の円滑な融通、既貸付金の償還猶予等について、できる限り柔軟な対応を行います。また、被害を受けた農業者等（組合員）の営農・生活の復旧に必要な資金のお借り入れとして、借入者に金利負担の生じない「平成26年2月降雪被害対策資金」、「平成26年8月竜巻被害対策資金」をご用意しています。資金の内容についての詳細は近隣の支店にお問い合わせ下さい。



2月の大雪で倒壊したブドウのハウスとブドウ樹



ブドウハウスの再建に向けた解体作業を行う J A 職員



突風で倒壊したハウスを再建する J A と J A 連合会職員



6月の長雨で二条大麦は穂に付いたまま発芽した

地域貢献に関する取り組み

地域農業の持続的発展に向けた取り組み

営農指導体制の強化

本店営農部に配置された広域営農指導員や各地区営農経済センターに配置された営農経済渉外員を中心に、県農業振興事務所と連携し、農畜産物の品質向上及び生産者手取り向上のための営農指導を行っています。

環境にやさしい農業の推進

安全性確保のため、生産履歴記帳運動、GAP（農業生産工程管理）の取り組み、IPM防除（物理的・生物的・耕種的・化学的防除を組み合わせた人・環境にやさしい総合防除法）の普及推進に努めています。また放射性物質汚染の対策として、関係機関と一体となりモニタリング検査の実施、結果公表に努めています。

担い手への支援

当JAでは認定農業者・主業農家・集落営農組織等を「主要な担い手」と位置付け、JAの販売事業の基軸を担う者として、規模拡大に向けた生産技術指導や契約販売の拡大、肥料や農薬などの大口利用割引、経理支援などの各種支援を強化しています。

新たな担い手づくり

当JAでは地域農業の持続的な発展のために農業資金融資や研修先の紹介など新規就農者の確保・育成を強化しています。また、定年帰農者や自給的農家に対しては栽培講習会の開催などにより直売所への農産物出荷を促し、所得の確保と地域の活性化を図っています。

耕作放棄地の拡大防止

耕作放棄地の拡大防止のため、特に担い手不在地域における農業の受け皿としてJA出資による農業生産法人「(株)グリーンファームしもつけ」を設立し、農地の賃借と農作業の受託を行っています。

共同利用施設の整備

ライスセンターや青果物集出荷場、選果場などの農業者の営農負担を軽減し、高品質な農畜産物を生産するための共同利用施設の整備を積極的に行っています。

食農教育への取り組み

国産農産物の重要性・安全性や農業の持つ多面的な機能について国民的理解を深めるため「みんなのよい食プロジェクト」のPR活動やコミュニティー紙の発行を行っています。



消費者との交流

農産物直売所を、地域の消費者の皆さまに新鮮で安全な農産物を提供するとともに、生産者と消費者が交流を図るための「場」として位置付け、その運営を強化しています。また地域の消費者にモニターとなっていただき農産物の生産・流過程を見学し、食の安全性を検証していただく取り組みを行っています。



豊かで暮らしやすい地域社会の実現に向けた取り組み

「JA暮らしの活動」とは組合員や地域住民が、暮らしの中での様々な思いやニーズを実現していくために行う自主的な活動に対して、JAが食農教育や高齢者生活支援、その他JAの総合事業が持つ地域のライフライン機能を生かして様々な面からサポートし、またJA自らも取り組んでいく活動です。この活動を通じて組合員のみならずJA事業に賛同する人々をJAの仲間として組合員化をすすめ、豊かで暮らしやすい地域社会の実現を目指しています。

あぐり親子うきうきクラブ



管内の親子に食や地元農業について楽しく学んでもらうことを目的とした食農体験講座を開設しています。会員を対象とした講座が年間通して開催され、農作物の栽培・収穫体験や地元農産物を使った料理体験などを行っています。

JAしもつけ女性大学



女性を対象に仲間づくりや生きがいの場を提供することを目的にJA女性大学を開設、米粉パン作りや草木染め、クラフトバッグ制作などの講座を行っています。地域の女性の幅広い参加を得て、新たな交流が生まれています。

農業体験学習



管内の小・中学校と連携し、農業体験学習や農産物集出荷場やライスセンターなどの施設見学の受け入れなどを行っています。また学校給食への地場産農産物の供給にも取り組んでいます。

健康寿命100歳プロジェクト



健康寿命とは日常的な介護を必要とせず健康的で自立した生活を送ることができる期間です。100歳まで健康に暮らせる地域社会の実現を目指して、ウォーキング講習などの健康講座や長寿レシピの開発などを行っています。

地域に協同の輪をひろげる取り組み

基本的な考え方

当ＪＡは、栃木市（西方町除く）及び壬生町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助を共通の理念として運営される協同組織です。当ＪＡは、「地域になくてはならないＪＡ」を目指して運営・経営にあたっております。当ＪＡの資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としております。当ＪＡの「貸出金」は資金を必要とする組合員の皆さまや地方公共団体などにもご利用いただいております。また、ＪＡの総合事業を通じて地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めています。

■ 地域からの資金調達の状況

組合員・地域の皆さまからの信頼のもと、大切な財産をお預かりしています。なお、当ＪＡでは以下のようなオリジナル商品を取り扱っています。

- 農産物販売代金定期貯金「みのり」
- レディースサークル積金（定期積金）
- プレ年金受給者向け年金定期積金及び年金定期貯金
- 子育て定期積金

貯金・積金平均残高

	平均残高
組合員等	147,205百万円
うち地方公共団体	4,821百万円
その他	35,470百万円
合 計	182,675百万円

※上記「組合員等」には、地方公共団体等からの貯金・積金が含まれています。

■ 地域への資金供給の状況

組合員をはじめ、地域の皆さまに必要な資金をご融資し、地域経済の発展を目指しています。

貸出金平均残高

	平均残高
組合員等	17,801百万円
その他	6,706百万円
うち地方公共団体	3,355百万円
合 計	24,507百万円

※上記「その他」には、地方公共団体等への貸出金が含まれています。

融資商品取扱状況

	平均残高
住宅ローン	14,684百万円
教育ローン	52百万円
自動車ローン	491百万円
営農ローン	85百万円
日本政策金融公庫資金	0百万円
農業改良資金	2百万円
農業近代化資金	326百万円
畜産特別資金	-
災害条例資金	-
就農支援資金	126百万円
その他	8,739百万円
合 計	24,507百万円

※上記のうち「日本政策金融公庫資金、農業改良資金、農業近代化資金、畜産特別資金、災害条例資金、就農支援資金」は、制度融資といい、農業生産の振興や農業後継者の育成などを目的に、国等が一定の制度に基づいて行う金融のことを言います。制度融資には、大別して、国・県の財政資金による融資と、ＪＡ資金を原資として融資を行い、国、地方公共団体が利子補給を行う制度があり、前者の代表的なものは日本政策金融公庫資金、農業改良資金、後者の代表的なものは農業近代化資金、畜産特別資金となっています。

文化的・社会的貢献に関する事項

ＪＡは農業者が中心となって構成されており、地域農業の振興を図り、消費者に安全で安心な農畜産物を安定的に供給することを基本使命としています。このため、農業関連事業を中心に総合的な事業を展開しております。加えて、組合員以外の方にも各種事業を利用していただくことにより、地域経済・社会の発展に寄与する社会的責任と、金融機関の一員として信用の維持・貯金者の保護を確保するなどの公共的使命を果たしています。

■ 文化的・社会的貢献への取り組み

国産農産物の重要性・安全性や農業が持つ多面的機能への理解促進を図るため、「みんなのよい食プロジェクト」ＰＲ活動や「食と農業に関するモニター現地交流会」を実施、また、次代を担う児童・生徒たちに対しては、学校給食への地元農畜産物の提供や農業体験学習の実施、図画・作文コンクールの開催などの農業への関心を高める取り組みを行っています。また、高齢者が安心して暮らせる地域社会づくりを目指し、高齢者生活支援事業や、認知症サポーター養成研修会を実施しております。

なお、東日本大震災の被災地に対しては、平成23年度から継続して職員のボランティア派遣等の支援活動を実施しております。

■利用者ネットワーク化への取り組み

当JAでは、組合員相互の親睦を図ることはもちろん、地域の皆さまとの結びつきを強化するため、年末に催される「ふれあいまつり（JAまつり）」や、農産物直売所を拠点とした生産者と消費者との交流活動を行っています。また、年金友の会会員によるグラウンドゴルフ大会やゲートボール大会の開催など利用者ネットワークづくりをすすめています。

また、組合員の皆さま向けに、毎月の広報誌「しもつけ」を発行、地域住民向けにコミュニティ紙「しもつけあぐりくらぶ」を発行するなど、JAの事業や地域の情報を提供しています。なお、皆さまからの情報やご意見等はeメールでも受け付けています。

- ホームページ
http://www.ja-shimotsuke.or.jp
- eメールアドレス
HP-INFO@ja-shimotsuke.or.jp

地域密着型金融への取り組み

当JAは、農業者の協同組合金融機関として、健全な事業を営む農業者をはじめとする地域の皆さまに対して必要な資金を円滑に供給していくことを、重要な役割の一つとして位置付け、金融機関が担う社会的責任と公共性を強く認識しながら、金融円滑化にかかる基本方針等に基づく適正な業務の遂行に努めております。

■農業者等の経営支援に関する態勢整備

当JAでは、ご利用者からの新規融資や貸付条件の変更等の申し込みに対し、円滑な措置をとることができるよう態勢を整備しています。

■経営支援に関する具体的取り組み

当JAは農業者等の経営支援に関して、以下の具体的取り組みを実施しています。

- 生産者と消費者をつなぐ場の設定
- 担い手に対する経営指導等の強化
- 国・地方公共団体の農業施策の活用
- 負債整理資金の提供による償還負担軽減
- 農産物加工所・直売所への支援
- 親子農業体験教室等の実施
- 食農教育事業の展開

● 広報誌「しもつけ」



● コミュニティ紙「しもつけ あぐりくらぶ」



経営資料

金融再生法開示債権

(単位：百万円)

債権区分	26年2月末	26年8月末	増減	(参考) 購買未収金
破産更生債権及び これらに準ずる債権 (A)	354	322	△31	0
危険債権 (B)	46	71	25	2
要管理債権 (C)	42	41	△1	—
小計 (D=A+B+C)	442	435	△7	2
正常債権 (E)	25,666	24,464	△1,202	860
合計 (D+E)	26,109	24,899	△1,209	863

- (注) 1. 平成26年2月末から8月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、8月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更しています。
2. 債権区分は、次の通りです。
- ①破産更生債権及びこれらに準ずる債権
 - ・法的破綻等による経営破綻に陥っている債務者に対する信用事業債権です。
 - [資産査定における破綻先、実質破綻先]
 - ②危険債権
 - ・経営破綻の状況にはないが、財政状況の悪化等により元本利息の回収ができない可能性の高い信用事業債権です。
 - [資産査定における破綻懸念先]
 - ③要管理債権
 - ・3か月以上延滞貸出債権(元金)及び条件緩和貸出債権(元金)です。
 - [資産査定における要管理先のうち3か月以上延滞貸出金と貸出条件緩和債権]
 - ④正常債権
 - ・債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び要管理債権以外のものに区分される信用事業債権です。地方公共団体等への債権も含まれています。
3. 購買未収金
購買未収金を参考として開示しております。なお、金融再生法債権区分に基づく購買未収金開示の債権区分と資産査定における債務者区分との関連は、次の通りです。

債権区分	資産査定債務者区分
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	破綻先・実質破綻先
危険債権	破綻懸念先
要管理債権	要注意先のうち要管理先
正常債権	要注意先のうちその他要注意先及び正常先ならびに地方公共団体等

単体自己資本比率

26年2月末	26年8月末
17.23%	16.96%程度

(注) 26年8月末の比率は、パーゼルⅢを踏まえた新国内基準で算出しています。また、8月末は、当J Aの上半期仮決算データを基に算出しており、確定した決算に基づく数値ではありません。

主要勘定の状況

(単位：百万円)

	25年8月末	26年2月末	26年8月末
貯金	181,433	183,585	182,776
貸出金	26,238	25,129	24,339
預金	138,385	140,799	144,963
有価証券	11,587	13,157	8,495
購買未収金(参考)	901	981	863

(注) 有価証券は、2月末は時価評価後、8月末は償却原価法適用後の残高です。

有価証券等時価評価情報

(単位：百万円)

	26年2月末			26年8月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	—	—	—	—	—	—
満期保有目的	1,500	1,510	10	1,500	1,509	9
その他	11,098	11,657	558	6,995	7,419	424
合計	12,598	13,168	569	8,495	8,929	434

(注) 1. 本表記載の有価証券の時価は8月末日における市場価格等に基づく時価により計上したものです。
 2. 売買目的有価証券については、当J Aでは投機的運用を行わないため保有しておりません。
 3. 取得価額は償却原価法(アモチ・アキュム)適用後、減損処理前のものです。

店舗・ATM

店舗一覧

- 本店
〒328-0053
栃木市片柳町2丁目1-44
TEL：(代) 0282-24-1180
ATM：有
- 監査室
TEL：0282-24-7517
- CSR対策室
TEL：0282-20-8838
- 企画総務部
TEL：0282-24-1180
- 金融部
TEL：0282-24-1183
- 共済部
TEL：0282-24-1182
- 本店 営農部
〒329-4413
栃木市大平町上高島752-1
TEL：0282-20-8828
ATM：有
- 本店 経済部
〒328-0041
栃木市河合町3-26
TEL：0282-20-8826
- 栃木駅前支店
〒328-0041
栃木市河合町3-26
TEL：0282-20-8821
ATM：有
- 栃木東支店
〒328-0011
栃木市大宮町1420-1
TEL：0282-27-2525
ATM：有
- 栃木西支店
〒328-0125
栃木市吹上町1183-3
TEL：0282-31-1794
ATM：有
- 都賀支店
〒328-0103
栃木市都賀町原宿874-1
TEL：0282-27-5611
ATM：有
- 壬生支店
〒321-0219
下都賀郡壬生町福和田1001-9
TEL：0282-82-1111
ATM：有
- 大平支店
〒329-4421
栃木市大平町西野田20
TEL：0282-43-2344
ATM：有
- 藤岡支店
〒323-1102
栃木市藤岡町赤麻1740
TEL：0282-62-4333
ATM：有
- 岩舟支店
〒329-4307
栃木市岩舟町静880-1
TEL：0282-55-3333
ATM：有
- 栃木地区営農経済センター
〒328-0011
栃木市大宮町1422
TEL：0282-27-6511
- 都賀地区営農経済センター
〒328-0103
栃木市都賀町原宿864-1
TEL：0282-27-1881
- 壬生地区営農経済センター
〒321-0219
下都賀郡壬生町福和田1001-9
TEL：0282-82-1103
- 大平地区営農経済センター
〒329-4421
栃木市大平町西野田20
TEL：0282-43-0800
- 藤岡地区営農経済センター
〒323-1102
栃木市藤岡町赤麻1740
TEL：0282-62-4336
- 岩舟地区営農経済センター
〒329-4308
栃木市岩舟町下津原462-1
TEL：0282-55-3211

特定信用事業代理業者

当JAを所属金融機関とする特定信用事業代理業者はありません。

(平成26年11月1日現在)

店舗以外のATM設置台数

■ニューアプロニー
〒328-0041
栃木市河合町3-26
TEL：0282-22-8743

■デイサービスセンターひだまり
〒321-0221
下都賀郡壬生町大字藤井1645-3
TEL：0282-81-0377

■葬祭センター
〒328-0012
栃木市平柳町2-23-7
TEL：0282-29-1788

●葬祭ホール
ひらやなぎホール
栃木市平柳町2-15-24
TEL：0282-29-1567

グリーンプピア
栃木市沼和田町29-33
TEL：0282-25-3366

アトラス壬生ホール
下都賀郡壬生町寿町5-23
TEL：0282-82-6556

おおひらホール
栃木市大平町富田5003-11
TEL：0282-45-1400

藤岡中央ホール
栃木市藤岡町大前1229-1
TEL：0282-62-5211

いわふねホール
栃木市岩舟町和泉680-1
TEL：0282-55-8787

■とちぎ農産物直売所よつとこれ
栃木市大宮町1419-5
TEL：0282-27-8555
営業時間：午前8:45～午後4:00
定休日：火曜日

■都賀生出宿里の駅農産物直売所
栃木市都賀町大柿334-5
TEL：0282-91-1181
営業時間
(3～10月)午前8:30～午後5:00
(11～2月)午前8:30～午後4:30
定休日：無休

■みぶ農産物直売所いなばの郷
下都賀郡壬生町上稲葉1664
TEL：0282-82-8361
営業時間：午前9:00～午後4:00
定休日：無休

■みぶハイウェーパーク
農産物直売所みらい館
下都賀郡壬生町国谷1870-2
TEL：0282-82-8838
営業時間：午前8:30～午後6:00
定休日：無休

■大平カインズモール
農産物直売所愛菜果
栃木市大平町下皆川700
TEL：0282-45-1772
営業時間：午前9:30～午後6:00
定休日：無休

■ゆうゆうプラザ農産物直売所
栃木市大平町西野田666-1
TEL：－
営業時間：午前10:00～午後2:00
定休日：月・火・木・土曜日

■道の駅みかも
農産物直売所万葉の里
栃木市藤岡町大田和678
TEL：0282-62-0991
営業時間：午前9:00～午後6:00
定休日：無休

■いわふねフルーツパーク
花野果ひろば農産物直売所
栃木市岩舟町下津原1587
TEL：0282-55-8485
営業時間
(3～10月)午前8:30～午後5:00
(11～2月)午前8:30～午後4:30
定休日：月曜日

■栃木市役所
栃木市庁舎1階（1台）

■下都賀病院
栃木市富士見町（2台）

■旧寺尾支店
栃木市梅沢町（1台）

■旧国府支店
栃木市惣社町（1台）

■旧大宮支店
栃木市今泉町（1台）

■旧皆川支店
栃木市皆川城内町（1台）

■旧赤津支店
栃木市都賀町大橋（1台）

■旧家中支店
栃木市都賀町家中（1台）

■旧壬生支店
下都賀郡壬生町中央町（1台）

■旧稲葉支店
下都賀郡壬生町大字上稲葉（1台）

■旧南犬飼支店
下都賀郡壬生町大字塚（1台）

■旧大平西支店
栃木市大平町富田（1台）

■旧大平南支店
栃木市大平町西水代（1台）

■旧三鴨支店
栃木市藤岡町甲（1台）

■旧部屋支店
栃木市藤岡町蛭沼（1台）

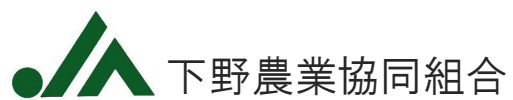
■藤岡総合支所
栃木市藤岡町藤岡（1台）

■旧静和支店
栃木市岩舟町静和（1台）

■旧小野寺支店
栃木市岩舟町新里（1台）

直売所は定休日の他、お盆・年末・年始、または店舗都合により休業する場合があります。

店舗以外のATM設置台数は上記の18カ所、計19台です。当JAのATMは全て手のひら認証対応です。



下野農業協同組合

栃木県栃木市片柳町2丁目1番44号

TEL : 0282-24-1180

<http://www.ja-shimotsuke.or.jp/>